

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能であるカチャーシーの保存継承を図るとともに、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援し、観光誘客を図る。	はごろも祭り・カチャーシー大会への支援	①カチャーシー大会演舞者数: 個人の部:41名、団体の部:25団体 ②はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数:160,000人	【今後のスケジュール】 同大会を継続して開催することにより、市民意識の高揚と親睦を深め、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	②	企画展開催事業	H24 ～ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催し、市の歴史・文化の継承及び観光誘客を図る。	企画展を開催:2本	企画展1本あたりの平均入館者数: 1,300人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上企画展を開催する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	③	宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ R3	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりへの支援	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人	【今後のスケジュール】 来場者数の増加に向け、まつりの開催時期、内容を改善しながらR3年度まで支援を継続する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	④	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財に文化財説明版と標識を作成設置する。 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財標識・説明板設置件数:2件 地域文化財案内板:1件	【令和2年度成果目標】 地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 地域・市民の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められることにより、文化財を活かした「地域学習」や「地域づくり」に反映され、地域に愛着と誇りを育む「地域アイデンティティ創出の糸口」となる。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	⑤	琉球海炎祭支援事業	H25 ～ R3	日本で一番早い夏の大火火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭への支援	①琉球海炎祭来場客総数:15,000人 ②①のうち県外客数:6,000人 ③①のうち海外客数:2,000人	【今後のスケジュール】 イベント開催を支援することにより、観光・コンベンション機能の充実を図り、認知度向上のため、PRを継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	植樹する花の苗 (10,000鉢)	宜野湾海浜公園の景観形成について、魅力的なプロ野球キャンプ地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 プロ野球キャンプ地としての魅力的な景観形成を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の来場者にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑦	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ R3	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	イベント来場者数:7,000人	【今後のスケジュール】 当該イベント来場者数増加に向け、企画内容を充実させ、西海岸地域における新たな観光スポットとして定着を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	⑧	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R3	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及び周辺施設の整備を実施する。	宜野湾海浜公園施設等再編整備基本構想・基本計画をベースに実施設計	利用促進、誘客促進に向けた整備設計の完成	【R3年度成果目標】 (市立グラウンド) 整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。 【R4年度成果目標】 (事業完了による海浜公園全体の利用者数)61.1万人 【今後のスケジュール】 R1 実施設計 R2 エントランスエリア1工区・グラウンド整備 R3 エントランスエリア2工区	【R3成果目標設定の考え方】 (市立グラウンド)利用者のうち、大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R4成果目標設定の考え方】 (事業完了による海浜公園全体の利用者数)過去の実績を参考に設定した。
1	⑨	嘉数高台公園施設整備事業	H30 ～ R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	嘉数高台公園施設整備計画をベースに実施設計	老若男女、少数から団体まで、利用者の利便性向上に向けた着実な実施(嘉数高台公園施設整備実施設計の完成)	【R4年度成果目標】 整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。 【今後のスケジュール】 R1 実施設計 R2 プロムナード周辺整備工事 R3 展望台改修・園路バリアフリー化整備工事	【R4成果目標設定の考え方】 利用者のうち、大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑩	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H30～R2	宜野湾市内外に認知されたプロ野球チームのキャンプ地である市立野球場において、キャンプ受入体制を確保するため、市立野球場の施設改修を実施する。	バックネット改修実施設計、スコアボード改修工事	2021春季キャンプの供用開始に向けた事業の着実な実施(バックネット改修設計及びスコアボード改修工事の完成)	【R3年度成果目標】 プロ野球キャンプ実施件数:1件 スポーツ合宿誘致件数:3件 【今後のスケジュール】 R1 スコアボード・バックネット改修 R2 フェンス改修工事	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	⑪	博物館機能強化事業	H26～R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の機能強化を実施する。	館内施設整備(空調設備改修設計)	館内施設整備(空調設備改修設計)の完了	【R4年度成果目標】 年間利用者数 24,573人 【今後のスケジュール】 R2: 館内施設整備(空調設備改修工事) R3: 館内施設整備(企画展示室及び館内トイレ改修)	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	⑫	宜野湾市ハートポスト設置事業	R1	平成30年9月16日に引退した安室奈美恵さんの最後の引退ライブを行った市海浜公園が安室ファンの間で聖地となっていることから、「#ALLFOR916」より寄贈されたハートポストを活用した施策を展開し、本市西海岸エリアへの観光客の誘致を図る。	・ハートポスト及びハートオブジェの展示 ・ハートポストレプリカの製作、設置 ・安室奈美恵さんとの関係企業と著作権、肖像権に係る調整を行う。	ハートポスト投函数 500通/月	【今後のスケジュール】 ・安室奈美恵さんが引退した日、(令和元年)9月16日に合わせて、ハートポストレプリカの設置とハートポストにちなんだ風景印の押印のサービスを開始とする。	【R1成果目標設定の考え方】 類似事業を参考に設定した。
2	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校と連携しながら寄り添い支援等をおこない、関係機関につなぎ不登校や問題行動等の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	小学校9校に各1名 中学校4校に各2名の計17名の学校配置とセンター内にコーディネーター4名及びアドバイザー1名を配置 学校と連携し寄り添い支援や関係機関につなぐ支援活動を実施	スクールソーシャルワーカーの支援を受けている児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 30%	【今後のスケジュール】 配置されたスクールソーシャルワーカー(学校配置の相談支援員、センター配置のコーディネーター、アドバイザー)の業務分担や役割を整理、強化し学校との連携により児童生徒の支援に取り組む。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	②	適応指導教室事業	H24～R3	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室支援児童生徒数:4名	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:20%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	③	児童生徒等相談事業	H24～R3	教育上の課題を抱える青少年の相談支援のため臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、課題への早期対応、改善に取り組む。	臨床心理士2名と青少年教育相談指導員3名を配置 教育相談等を実施	臨床心理士、青少年教育相談指導員の支援を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 19%	【今後のスケジュール】 配置された臨床心理士と青少年教育相談指導員が、スクールソーシャルワーカーと連携し困り感のある子どもの相談対応をし、問題行動の未然防止や適応指導教室との連携により不登校児童生徒の学校復帰につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	④	非行防止等巡回活動事業	H24～R3	青少年の健全育成に寄与するため、街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施し、関係機関や地域と連携し青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	4中校区から各4名の街頭指導員を計16名委嘱し、4グループを編成 4名1グループが週3回(平日21時～23時)(金・土曜日21時半～23時半)の公園を中心に巡回し夜間街頭指導等を実施	街頭指導件数 622件以下	【今後のスケジュール】 地域や学校からの情報を活かし、季節に見合う巡回指導を強化することで、青少年の深夜はいかない、非行防止や事件事故の抑止につなげる。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	⑤	学習支援員活用事業	H24～R3	小中学校において、学習の定着が不十分な児童生徒に対して学習支援を行うことで、学習意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を養うことにより、基礎的・基本的な知識・技能を確実に取得させ、学力の向上を図る。	学習支援員の配置:13校13人 小学校9人・中学校4人	県到達度調査における県平均正答率との差 ・小学校(3年～6年) 国語: +4%以上(3年生、5年生のみ) 算数: +3%以上 ・中学校(1年～2年) 数学: 0%以上	【今後のスケジュール】 R2年度までに、宜野湾市総合平均と全国平均との差を小学校は+5%、中学校は±0%。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	⑥	派遣費補助金交付事業	H24～R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数: 15団体 (文化活動団体数: 5団体、スポーツ活動団体数: 10団体)	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R1～R3の支援団体見込数は、概ね45団体 各年度: 15団体	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟登録している団体又は個人の県外派遣を支援する。	県外へ派遣された団体等への支援を実施する。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続きスポーツ少年団等への支援を実施する。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設置した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたのもの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	知的、情緒障がいなどの課題を抱える幼児・児童生徒に対し、障がいの程度に応じ、特別支援教育支援員をマンツーマンまたは複数人に1人を配置する。 幼稚園15人、小学校45人、中学校20人配置	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:15人、小学校45人、中学校20人)	特別支援教育支援員(幼稚園:15人、小学校45人、中学校20人)支援員による声かけ及び支援により学習に向かう態度を身につけさせ、幼児児童生徒、学校、保護者が安心して学校生活を送ることができる。対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 H30以降の配置 特別支援教育支援員の配置:幼稚園(9園)15人、小学校9校45人、中学校20人。対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【R1成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の保護者のうち、大多数が満足していると考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	大謝名メヌカーの保存整備工事を行う。	大謝名メヌカー保存整備工事:1件	【R2成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 200人以上 【今後のスケジュール】 大謝名メヌカー保存整備工事を行い、安全に市民、観光客等に公開活用し、観光振興・文化教育につなげる。 H28年度:保存計画検討 H29年度:保存整備踏査設計完了 R1年度:保存整備工事等完了 R2年度:公開	【R2成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。
3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等と写真類を整理し、市民サービスに資するためデータベースへの登録を行い、公文書の公開を行う。	・歴史的価値を有する公文書等の整理 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 公文書と写真整理を継続して整理を完遂させ、公開できる簿冊等を増やすとともに、歴史公文書の順次公開をすすめていく。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R3	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名(中学生)を派遣する。 沖縄戦から70年余が経過する中で、平和祈念事業を実施し、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	平和学習派遣生徒数:8人 平和祈念事業を行う	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H24～R3年度 平和学習派遣:各年度8人 累計80人	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	②	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ R3	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。またALT及びJTE各校派遣にあたってコーディネーターを配置する。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	①小学1年生～4年生:英語による質問4項目に対する平均正答率84%以上 ②小学5年生ブロンズコース総合平均正答率89%以上、6年生シルバーコース総合平均正答率84%以上	【今後のスケジュール】 H24～R2年度 ①小学1年生～4年生:英語による質問4項目に対する平均正答率84%以上 ②小学5年生ブロンズコース総合平均正答率89%以上、6年生シルバーコース総合平均正答率84%以上	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
4	③	外国人教師招致事業	H24 ～ R3	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1人配置)	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1ポイント以上	【今後のスケジュール】 H24～R2年度 3級以上の受験率を60% 5級合格率90%	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
4	④	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R3	ICT支援員を定期的に市内小中学校へ派遣し、ICTを活用した子ども達の理解が深まる授業の展開や児童生徒のICT機器活用能力の向上を図る。	IT活用主任嘱託員1名、補助員1名配置 情報夏期講習会(小学校電子黒板利活用研修会)9回 情報教育研究会検証授業4回	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合を80%以上を目標とする。 ② ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合小学校70%以上、中学校80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	⑤	ICT機器活用推進事業	R1	児童の情報活用能力の育成環境を整備するため、小学校の普通教室、特別教室等に電子黒板、書画カメラ、教材等送受信装置等を整備する。	市内小学校へICT機器の整備を行う電子黒板、書画カメラ、教材等送受信装置等	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる率を80%以上を目標とする。 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合小学校80%以上、中学校80%以上。	【今後のスケジュール】 教員を対象にした研修会を実施し、ICT機器を活用した情報教育授業を推進する。	【R1成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、電子黒板等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
4	⑥	中学校短期海外留学派遣事業	R1～R3	本市在住中学生10名を、アメリカ合衆国に短期海外留学生として30日間派遣し、ホームステイを基本として、語学研修や各種アクティビティを体験しながらコミュニケーション能力の向上と国際的な視野を育成する。	アメリカ合衆国への短期海外留学生として10名派遣	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R1～R2年度短期海外留学派遣	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値を設定した。
5	①	市民防災事業	H27～R3	・災害時備蓄食・保存水糧購入 ・避難所用簡易トイレ購入 ・自主防災組織資機材整備補助金交付	・5,500食の備蓄食料を備蓄する。 ・552Lの保存水を備蓄する。 ・避難所へ簡易トイレを整備する ・設立した自主防災組織への資機材整備の支援を行う。	・保存食の備蓄 R1年度備蓄食糧率93% (H30年度備蓄食糧率75%) ・保存水の備蓄 R1年度備蓄率19% (H30年度備蓄率19%) ・避難所簡易トイレの購入 ・自主防災組織への資機材整備 (H30年度整備:2団体)	【R2成果目標】 ・整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)の実施。 【今後のスケジュール】 ・令和3年度までに目標の約2.7万食の備蓄を行ったあとは、保存期限が過ぎた食糧分の備蓄を年次的に行い、常に約2.7万食を備蓄し、大災害に備える。 ・福祉避難所へ簡易トイレを整備する ・市内すべての自治会(23自治会)において自主防災組織の結成を支援し、設立後は資機材整備に係る補助金を交付し、地域の自主防災力の向上を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。 【R2成果目標設定の考え方】 ・本事業の目的から、本来災害時の活用状況等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、防災訓練(1回以上/年)により検証を行うことで、住民及び観光客等の安全確保に繋がると考え、成果目標と設定した。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	若手の会、NBミーティングの定例会等の活動支援を行う。 字毎の意見交換会やホームページ等を通じて、関係地権者や市民へ情報を発信する。	調査内容報告書の作成	【R3成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」 80%以上 【今後のスケジュール】 令和元年度～2年度 検討内容の市民、県民及び地権者等への発信	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
6	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信	跡地利用計画(素案)に反映させる配置方針図の更新の検討	【R3成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」 80%以上 【今後のスケジュール】 令和元年度 配置方針図の更新 令和2年度 跡地利用計画(素案)策定	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
7		被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行い、農家の生産量の増加を図る。	H30年度申請件数:19件	被覆資材等導入面積:47,000㎡	【R3成果目標】 被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5% 【今後のスケジュール】 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	【R3成果目標設定の考え方】 類似事業を参考に設定した。
8		多様な働き方就労支援事業	H28 ～ R3	子育てや介護など家庭の事情等で従来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	就業希望者に対し、就職に優位なスキルを取得させる。	・支援者のうち新規就労に繋がった人数20名以上 ・支援者のうち新規就労に繋がった割合39%以上	【今後のスケジュール】 引き続き就労支援事業を実施し、多様な働き方につながる雇用機会を創出していく。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
9		宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ～ R3	支援が必要なひとり親世帯の中でも自立に向けた意欲のある世帯に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	・生活支援コーディネーターによる就労支援及び生活全般の相談・同行支援 ・支援対象者 10世帯	支援対象者にうち自立につながった割合 8割以上	【今後のスケジュール】 支援対象者 H30年度 10世帯 R1年度 10世帯 R2年度 10世帯	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	地域キャリア教育支援事業	H30～R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した協議会を開催し、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、小中学生を対象にした職業体験イベント等を実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の開催(3回) ・小学校、中学校毎に職業体験プログラムの実施	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連携協議会の活性化を図っていく。	【R1成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	宜野湾ベイサイド情報センター整備事業	H30～R1	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	空調機工事の完了	空調機工事の完了	【R3成果目標】 入居企業数 10社 【今後のスケジュール】 H30:空調機工事の実施設計 R1:空調機工事	【R3成果目標設定の考え方】 宜野湾ベイサイド情報センターを企業の創業支援等の場として引き続き活用することが目的であるため、現在の入居企業社数10社(入居率100%)を維持することを目標として設定した。	
12	市民会館機能強化事業	R1～R3	宜野湾市民会館は芸術文化活動の拠点として、市民の舞台発表や芸術鑑賞の場として活用されているが、建設から35年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる。 普天間飛行場の移設が完了し跡地利用に至るまでに長期間を要することが想定されるため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り中長期的な利活用を目指す。	①変電室内低動力盤、電灯盤等改修【設計】 ②変電室内低動力盤、電灯盤等改修【工事】 ③市民会館発電機更新【設計】 ④市民会館発電機更新【工事】 ⑤3階トイレ改修【設計】 ⑥3階トイレ改修【工事】 ⑦バリアフリー対策による機能強化客席機能強化【設計】	①変電室内低動力盤、電灯盤等改修【設計】 ②変電室内低動力盤、電灯盤等改修【工事】 ③市民会館発電機更新【設計】 ④市民会館発電機更新【工事】 ⑤3階トイレ改修【設計】 ⑥3階トイレ改修【工事】 ⑦バリアフリー対策による機能強化客席機能強化【設計】	【R3成果目標】 年間利用者数 59,287人 【今後のスケジュール】 R1:発電機工事等 R2:大ホール・集会場天井落下防止対策工事等	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
13	宜野湾市みどりの風景づくり基礎調査事業	R1～R3	自然環境の保全・再生、みどりに包まれた魅力的な都市環境の創出に向けて、官民一体となった緑地の保全や緑化の推進に関する方針を定めるための基礎調査を実施する。	・都市概況調査(自然・社会的条件) ・緑の現況調査 ・緑に関する市民意向調査 ・緑地保全・緑化に関する施策の評価 ・緑の風景づくりに向けた課題分析及び施策の基本方向	基礎調査の完了	【R2成果目標】 基礎調査結果を踏まえて緑化の保全・推進に係る将来の目標値を設定し、目標値に対応した各種施策を実施・検証する。 【今後のスケジュール】 令和元年度:基礎調査の実施 令和2年度:「景観形成重点地区」の指定など、基礎調査で定めた将来の目標値の実現に向けた施策等を実施する。 令和3年度:「景観形成重点地区」の追加指定や、緑化推進事業など、基礎調査で定めた将来の目標値の実現に向けた施策等を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 本事業において策定する基礎調査に基づいて将来の目標値を設定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該調査で設定した目標値を指標とした各種施策を実施・検証していくこととした。	

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたのもの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。